

ナラティブ・メディア研究会 第16回

プログラムからみる

日本の映画文化・映画館

成田雄太

(東北工業大学・東北大学非常勤講師)

全国の映画館で配布されていた、上映作品の紹介やお知らせ、スタッフからのひとことなどが書いてある印刷物、それがプログラムです。現在のようなシネマコンプレックス形態が主流になる遥か以前、映画館は様々な趣向を凝らしたプログラムをそれぞれ作成し、しのぎを削っていました。本発表は、戦前から戦中にかけてのプログラムを実際に見ていくことを通して、その時代に映画館という「場」が持っていた映画史的な役割を明らかにしていきたいと思えます。

7/24 (水) 16:40~
文学研究科3階中会議室

どなたでも興味のある方の来聴を歓迎します(事前申し込み不要)

*

ナラティブ・メディア研究会は、文学・漫画・映画・アニメ等の物語媒体を横断的に議論したい人の集まりです。お問い合わせは情報科学研究科・森田(mona@m.tohoku.ac.jp)もしくは文学研究科・森本(xkc-m2rt@sal.tohoku.ac.jp)まで。